

【概要】

2015年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用者編】(第3回)

I 調査の概要

本調査は、調査対象期間(2015年11月～2016年2月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。(回答数:977件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 「全期間固定型」の利用割合は36.0%と増加、「変動型」は38.7%と減少<p. 2>

- ・「全期間固定型」の利用割合は、36.0%(前回調査:29.8%)と増加
- ・「固定期間選択型」は、25.3%(前回調査:26.9%)と減少
- ・「変動型」は、38.7%(前回調査:43.2%)と減少

2 今後1年間の住宅ローン金利見通しは、全体では「現状よりも上昇する」が減少<p. 7>

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通しは、全体では「現状よりも上昇する」が減少し、「現状よりも低下する」が増加

3 利用した住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」が圧倒的多数<p. 12>

- ・利用した住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」が54.0%(前回調査:64.6%)と圧倒的多数
- ・「将来の返済額をあらかじめ確定しておきたかったから」は、13.1%(前回調査 11.3%)と増加

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページ(<http://www.jhf.go.jp/files/300316102.pdf>)に掲載